

## 冷凍食品の環境にやさしく持続可能な幹線輸送を実現

# 第25回物流環境大賞を受賞

味の素冷凍食品（株）とF-LINE（株）の協働によりCO2排出量を削減

味の素冷凍食品株式会社（以下、味の素冷凍食品）は、F-LINE株式会社（以下、F-LINE社）とともに、「冷凍食品の環境にやさしく持続可能な幹線輸送の実現」の取り組みにおいて、一般社団法人日本物流団体連合会が主催する「第25回物流環境大賞」表彰で、大賞である「物流環境大賞」を受賞しました。

物流環境大賞とは、近年物流分野においても環境との調和がますます重要となっている現状から、物流部門において、優れた環境保全活動や環境啓発活動、あるいは先進的な技術開発・活用などを行うことにより、環境負荷低減の面から物流業の発展に貢献した事業者が表彰されるものです。当社とF-LINE社は、温度管理が厳しい冷凍食品を貨物鉄道輸送に転換した点、船・鉄道・トラックの3パターンでのモーダルコンビネーションを推進し、海上・鉄道輸送の比率を上げた点により、CO2排出量削減に大きく貢献したことが評価され、受賞となりました。

※日本物流団体連合会主催「物流環境大賞」URL：<https://www.butsuryu.or.jp/public/environment/>

### 【取り組み内容】

#### （1）400km圏内輸送（関東－仙台）での鉄道輸送導入

従来は、関東地区から東北地区への輸送は全てトラックで行っていましたが、環境に配慮した輸送手段を模索し、スムーズなモーダルシフトを可能にする冷凍31フィートコンテナを準備し、JR貨物・通運事業者との連携により鉄道輸送枠の確保を行いました。また、積み込み時間や出荷アイテムの調整、積み込みバースの時間割などについて、荷主・工場・物流事業者で連携を行い、冷凍食品の400km圏内の鉄道コンテナ輸送の導入を実現しました。

本取り組みにより、CO2排出量を30.9%削減※することができ、2024年1月単月においては、CO2排出量を対前年比で40.2%削減することができました。

※2023年10月～2024年1月 実績値

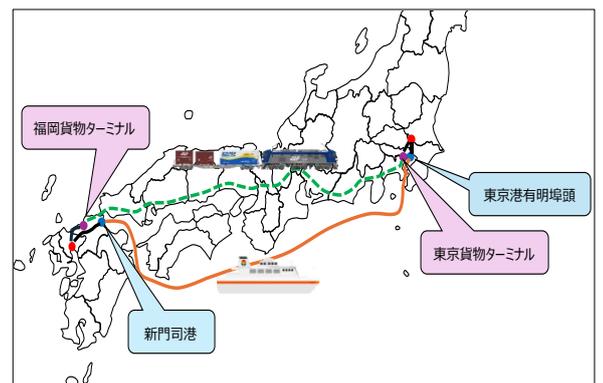


#### （2）九州工場発のパレット輸送導入と複々線化

従来、九州工場から関東地区への輸送には、トラック輸送と鉄道コンテナ輸送を併用していました。しかし当社とF-LINE社は、バラ積みできるドライバー不足と、バラ積みによる積み込み時間の遅延といった課題を解決するため、積み込み時の作業軽減を目的に、工場設備の改修による冷凍食品のパレット輸送を開始しました。これに伴い、トラック・鉄道・船舶の輸送モードを確保することができました。

本取り組みにより、鉄道・船舶輸送の拡大でトラック輸送は減便し、CO2排出量を17.4%削減※することができたとともに、環境にやさしい持続可能な冷凍食品の幹線輸送ネットワークを構築することができました。

※2023年2月～2024年1月 対前年比





当社執行役員 ロジスティクス部長 飯島賢次（写真右中央）



一般社団法人日本物流団体連合会長 真貝康一氏（左）  
F-LINE社常務執行役員 低温・流通本部長 田中武志氏（右）

今後も当社は持続可能な社会の実現に貢献するために、地球環境と調和した企業活動の継続的改善に努め、環境負荷低減の取り組みを行うと同時に、お客様の健康で豊かな食生活のために、安全・安心でおいしいものづくりを基本とし、健康維持・促進につながる取り組みを行ってまいります。